

Coadministration of Hydrogen Gas as Part of the Carrier Gas Mixture Suppresses Neuronal Apoptosis and Subsequent Behavioral Deficits Caused by Neonatal Exposure to Sevoflurane in Mice

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 与那嶺, 龍二 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31335

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2872 号	氏 名	与那嶺 龍二
審 査 委 員 会	主 査 教 授	尾崎 眞	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>幼若期のマウスが揮発性麻酔薬であるセボフルランの曝露を受けると、神経細胞にアポトーシスが誘発され、成長後の記憶障害が引き起こされることが知られている。近年、この種の神経毒性に酸化ストレスが関わっていることを示唆する報告がある。そこで抗酸化剤として、副作用がほとんどなく、簡便にキャリアガスの一部として使用できる水素ガスがこの障害に対して有用かどうかを研究した。</p> <p>研究の結果、セボフルランによって誘発されたアポトーシスは、水素の同時投与によって軽減されたことが生化学的および組織学的によって分かった。また水素投与群は非投与群と比較して活性酸素種が減少していた。マウス成長後の行動に関しては、セボフルラン曝露によって起こる成長後の長期記憶障害、社会性障害を水素ガスが抑制した。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			